

# 八 PICK UP NEWS

申し込み時の記入事項・Q市ウェブサイトでのID検索などについては⑧面上参照

NEWS  
01

名古屋市の市章は⑧(まるはち)!

「888の日」記念

令和8年8月8日は、名古屋に拍手!

名古屋の魅力を見つけに出かけよう!

## 「888の日」にちなんだイベントを実施・記念品プレゼント

期間 8/8(土)など(施設により異なる)

場所 名古屋城(中区)・豊臣ミュージアム(中村区)・東谷山フルーツパーク(守山区)など市内施設

料金 一部入場料必要

実施施設や  
内容はこちら



## 記念ドニエコきっぷの販売(8/3~)



場所 地下鉄全駅・交通局サービスセンター(地下鉄「名古屋」「栄」「金山」駅構内)

枚数 先着8,880枚

料金 620円(大人用のみ)

問合せ 交通局乗客誘致推進課 ☎052-972-3816 FAX052-972-3817

問合せ 総務局企画課 ☎052-972-4450 FAX052-972-4418

本市の市章⑧(まるはち) 明治40年(1907年)10月制定

尾張徳川家の合印(他者と区別するための印)として用いられていたマークが由来といわれています。「丸は無限に広がる力、八は末広がりて発展を示す」というおめでたいマークであり、名古屋の歴史を大切にしながら、新たに発展することを意味しています。

本市は将来にわたり持続的に発展・成長するためにシティプロモーションに取り組んでいます。シティプロモーションのブランドロゴには「まるはち」のDNAが受け継がれています。

この部分は、市章「まるはち」がモチーフ! 八のトメやハネをあえてあべこべにデザイン!



なごやの「な」をイメージしたロゴは回転させるとハートマーク♡に!

あなたの知らなかった名古屋の魅力がわかる! 市シティプロモーションサイト「やさなご」

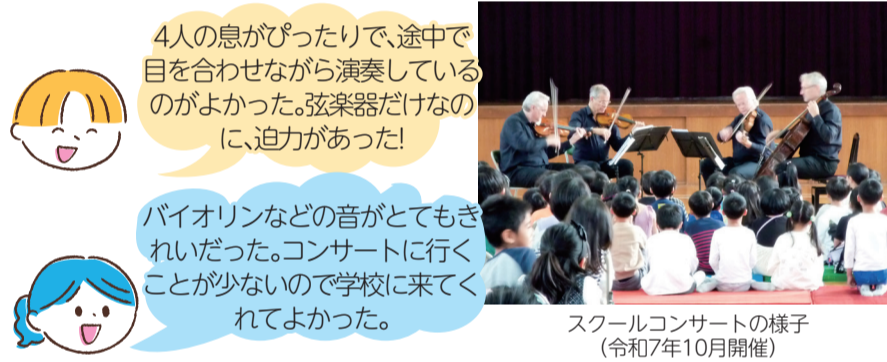


NEWS  
02

あなたの支援で、学校に一流の音楽が届きます  
子どもたちに優れた生演奏を届けるプロジェクト

## 世界最高峰の海外演奏家の演奏に触れる

名古屋の子どもたちに、本物の音楽体験を届ける「なごやっ子スクールコンサート」。生演奏を学校で体験させることで、子どもたちの豊かな感性を育みます。



4人の息がぴったりで、途中で目を合わせながら演奏しているのがよかった。弦楽器だけなのに、迫力があった!



バイオリンなどの音がとてもきれいだった。コンサートに行くことが少ないので学校に来てくれてよかった。

スクールコンサートの様子(令和7年10月開催)

## 寄付募集

子どもたちに優れた生の音楽演奏を届けるために、ふるさと納税\*を活用したクラウドファンディングにご協力をお願いします(名古屋市在住の方も可能)。  
\*控除上限額内の2,000円を超える部分は、申請により所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

受付 7/17(金)まで

問合せ 教育委員会義務教育課

☎052-972-3236 FAX052-972-4177

寄付について  
詳しくはこちら



NEWS  
03

アジア競技大会・アジアパラ競技大会観戦チケットの  
プレイガイド一般販売が始まります!

お近くのお店  
でも買える!

購入方法などは各販売窓口にてご確認ください。  
※一部競技については、チケットの購入が不要なものなどがあります。

※先着順のため、在庫がなくなり次第販売終了となります。

販売開始 7/15(水)午前10:00~先着

販売窓口 チケットぴあ・TBSチケット・CBCチケットセンターなどのウェブサイト



店頭での  
販売窓口

コンビニエンスストア(セブンイレブン・ファミリーマート)・  
中日新聞販売店

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)のプレイガイド一般販売について詳しくはこちら



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)のプレイガイド一般販売について詳しくはこちら



\*6/12(金)時点の情報であり、変更になる場合があります。

販売元: 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

問合せ〈プレイガイド一般販売について〉各販売窓口

〈大会チケットについて〉愛知・名古屋2026チケットお問い合わせ窓口  
☎052-990-6573 ☒Aichi-Nagoya2026\_support@pia.co.jp  
(総務局アジア・アジアパラ競技大会推進課 ☎052-972-4620 FAX052-972-4205)

知ってる?

# 本市と北海道八雲町のつながり

## 明治11年(1878年)の開拓が始まり

尾張徳川家17代当主・徳川慶勝が旧尾張藩士と家族82人を北海道八雲地域に移住させ、開拓を行ったことが、本市と八雲町のつながりの始まりといわれています。

## 「木彫り熊」とのつながり 北海道土産の定番!

尾張徳川家19代当主・徳川義親が欧州旅行をした大正11年(1922年)に、スイスで購入した民芸品をもとに八雲の農民に制作を奨励したことが始まりといわれています。名古屋城では八雲町から寄贈された「木彫り熊」を展示しています。



「木彫り熊」の展示(名古屋城御蔵城宝館)



「開拓移住者上陸第一歩の地」の碑



## 本市市章⑧とのつながり

明治16年(1883年)に尾張徳川家は八雲町にてみそ・しょうゆの製造に着手し、尾張徳川家の合印(他者と区別するための印)である⑧を商標と定め発売。その後⑧は本市の市章となりました。八雲町の服部醸造は昭和2年(1927年)創業の際、商標⑧を尾張徳川家から受け継ぎ今日に至ります。



八雲町の服部醸造の⑧マーク



広沢市長が同町を訪問(令和8年4月)

問合せ 名古屋城総合事務所 ☎052-231-1700 FAX052-201-3646